

EARTH DAY TOKYO 2009

地球の日の歩き方 vol.6

農 AGRICULTURE



AGRICULTURE



加藤登紀子 & Yae

登紀子「田植えにやってくる学生たちが、すごくカッコイイ」

Yae「私『幸せ=おいしい』なんです(笑)。だからこの暮らしを選んだ」

自分で野菜やお米を作って生きる、そんな生き方を選んだふたりの歌手がいる。ひとは国民的歌手でありシンガーソングライターの加藤登紀子さん。そして、娘の「半農半歌手」Yaeさんだ。おふたりは登紀子さんの夫であり、Yaeさんの父である故藤本敏夫さんが設立した「鴨川自然王国」を拠点に、有機農法をとりいれた農的生活を送っている。棚田に風がそよぎ、虫や鳥の声が途切れない、自然豊かな鴨川自然王国で、話を聞いた。

Yae (以下 Y) : 私、以前は東京に住んでいたんですよ。しかも、冷蔵庫をあけると水とビールしかない、「ザ・都会暮らし」みたいな……。

——そうなんですか！

Y : でも、都会で暮らしているときってというのは、基本的には、何でもお金を払わなければ手に入らないですよ。水道や電気など、ライフラインが止まったときにどうしたらよいかわからなくなるような場所で一生暮らせるとは思えない、と、ずっと思っていたんですよ。そして、いざ、自分のふるさとだと思っていたこの鴨川自然王国に来たときに「あ、なんだあるじゃんここに！」って。私、幸せイコール「おいしい」なんだけど(笑)。一番幸せを感じられる時は、おいしいご飯を食べたとき！ って、即座に言えるのだけれども……。鴨川の四季の、ホントに美味しい野菜を食べたり、土に触ったりした時に、私にとって本当に幸せな生き方って、こういう生き方なんだな、って……。

登紀子(以下 T) : そうなのよね。例えば、今まで食べたことのない、赤ちゃんの白菜とか……。

Y : あー！ そうね。

T : 間引き菜とかね。オクラなんかもそうなんだけれども、野菜が小さいうちに食べるのはとてもおいしいのよ。そしてそれは、八百屋には絶対出ないものだし、つくった人にしか味わえないものなの。この間、ある農家さんのところに行ったら、メロンが出てきてね。これが今まで食べたことのないほどおいしいメロンだったの。そしたらね、農家さんが「これは特別なメロンなんですよ」っていうの。つまり、キレイなのはすぐ収穫して、出荷されちゃうでしょ。でも、傷のあるメロンは収穫されないで、完熟するまでに木についたままなの。

Y : そうなのって、一番おいしいのよね。出荷する果物は、早めに採らなくちゃいけないから。本当に農家しか味わえない。

T : 果物の話だけじゃなくて、例えば、屋久島とかに残っている、樹齢何千年という木があるじゃない？ そうするのは、不出来な

木だったらしいですよ。つまり、デキがわるかったから、切られずに済んだんですって。いい木は全部、ほどほどのところで切れちゃっているから、こういう偉大なる木たちは、全部出来が悪かった木だったんだ、いい子にしているとみんな早めに切れちゃうよ！ ってというのは、私が大好きなエピソードでね(笑)。だから、生き方も、規格品どおりに育ったものはかわいそうなんだよ、っていうね。規格関係なく、のびのび自分を謳歌できるような生き物でいたいね、って思いますね。

——植物から学べることって多いですね。

Y : そういう事って、実際に触れ合わないと、実感できないところがあるのよね。

T : 自分の体で実感する、ってというのは大切なことよね。例えば、最近若い人たちと握手したりすると「握力弱いな」って思うのよね(笑)。私たちが本当に小さい頃はね、たてつけの悪い戸を無理やりあけるとかさ(笑)、重いバケツの水を何杯も運ぶとかしていたからね……。何か、自分の体で次の一步を開くというか、若い人たちには、そういう力が足りないわね。自分の体に残る記憶というか……。やはり、都会だと比較的バーチャルなものの中に居ることが多くなってしまっても、自然の中だと周りが無数の命の中に囲まれて暮らしているでしょう、いい知れず違ってくるでしょうね、感覚とか、思いが……。

Y : だから、農作業を通して、そういう自信や手ごたえを実感してもらえればすばらしいなあ、と思っているんですよ。もちろん、みんながみんな、農業をやってほしい、というわけではないのだけれども……。大人になっても、失ってはいけないもの、それが、農を通して学べるのではないかな……。そして、そうやって学んでいったことはやがて、自分が生きる、ということに直結すると思います。

——そうですね。だからかもしれないですけども、最近、畑をやっている人とそうじゃない人って、あきらかに違うような気がして……。男の人も……。

AGRICULTURE



T: そうそうそう (笑)。ゆるぎない感じがあるわよね。前までは、「土くさい」とか「田舎くさい」とってというのは、いい印象として語られなかったけど、何年か前からここ鴨川自然王国にも学生たちが田植えにやって来るんです。そういう人って、すごくカッコイイんですよね。会うと「あ、なるほどね」とって思いますよ。なんとなく流されて生活しているだけではなくて、自分の意思をもって行動している、っていうのがすでにカッコイイ。

Y: 私も……まあ、ある意味畑で出会ったようなものなんですけれども……、主人にね (笑)。サラリーマンを辞め、すべてを投げ出して鴨川にやってきて、今年で結婚して5年目になるんですけど、本当にカッコよくなったなあ、と思いますね。それで女性もね、こういう生き方を選ぶ人って「アレ?メイクしてないの?」っていうくらいキレイな人が多いんですよね。去年「土と平和の祭典」という農のイベントで実行委員長をしましたけれども、みなさんステキな人ばかりでした。

T: アースデイでも、やってくる方々に「自然の中で暮らしたり、畑を耕したりする生活ってステキ!」という感じが浸透してきているのをここ10年ぐんぐん感じられて、うれしいな、と思いますね。「土と平和の祭典」は、出店者がほとんど若い有機農業者なのですが、20~30代くらいの方々なのに本当にしっかりしていて、お話を聞いているうちに「農業って、本当に色々な体験をするんだなあ、だからこんなにしっかりしているんだなあ」と思いましたね。

——都会に居る若い人たちは自然と触れ合うことや畑を耕したりすることに興味はあると思うのですけれども、どうアクセスしたらよいかわからない、という方が多い気がします。それは都会では感じられない「リアル感」をどう感じるか、ってことなのだと思いますが……。そこで、まずは最初の一步をどう踏み出すか、というアドバイスを頂けますか。

T: 私ね、それは「自炊」だと思うの。

Y: ああ、お弁当作るとかね!

T: 出来れば、産地がきちんと書いてあるような、八百屋を見つけてね。やはり、料理を作ることで、普段のモードから気分を変えられることができると思うし……。

Y: 私は子どもに包丁を持たせちゃう。「痛いから手切らないでね」とは注意しますが、バンバン楽しそうに切りますし、自分の作ったものって、すごいよく食べますよ。これは、実感として身につくと思うので、お子さんがいらっしゃる方はぜひやってみて欲しいと思いますね。あとは、食卓の上でもいいと思うのですけれども、ハーブなどを育てて、パスタの上にちぎってのせるとか……。

T: あと、今ひとり暮らしていて、自炊が面倒くさいって人も多いじゃない? だから、友達何人か集まって、ご飯を一緒に食べるというのかもしれないわね。

Y: 横のつながりのないのが都会だからね。私なんか都会で暮らしているときは、100%外食でしたからね (笑)。そこへ鴨川の有機野菜を食べたもんだから、よけい衝撃だったんでしょうね。今はもうお買い物カゴ下げて、畑に行くことができる。今日なっている野菜を使って何食べようかな? っていうのも楽しみです。毎日毎日ナスだったりもするときがあるんですけども……。今はほぼ100%野菜は自給していますね。もう、毎日ナスでもあえて買わない (笑)、っていう。

T: あとはね、雨に濡れたりするのもいいと思うのよね。裸足で歩くとか……。Yaeが保育園に行っているときにね、あまりにも雨が降って靴がびしょびしょになってしまっ……。

Y: すっごいどしゃぶりだね。

T: だからふたりで靴脱いで、千駄ヶ谷から家まで裸足で歩いたのよ。本当に楽しくってねえ (笑)。結構気持ちのいいものなんです。

Y: まさにあの北参道駅のところでね。

T: だから、裸足で土の上を歩いたり、どろんこになって田植えなんかをしたりとか。

Y: ものすごい気持ちいいですよ、田植え。なんかもうふにゃあっと泥の中に入っていく感じが、地球の中に入っていきようで……。最近では「みんなで田植えをしよう!」というイベントも多いし、私に関わっている「種まき大作戦」でもやってますので、ぜひ参加してみてください (笑)。



加藤登紀子

1943年ハルビン生まれ。1965年歌手デビュー。地球環境問題にも積極的に取り組み2000年10月にはUNEP(国連環境計画)親善大使に。アジアやオセアニア各地を精力的に訪れ、自らの目で見た自然環境の現状を広く伝えるほか、音楽を通じた交流を重ねている。2008年12月には、全国10都市全17回の「ほろ酔いコンサート」を開く。

加藤登紀子公式ウェブサイト TOKIKO WORLD <http://www.tokiko.com/>

公式ブログ TOKIKO BLOG <http://greenz.jp/tokiko/>

Yae

東京生まれ。2001年に歌手としてデビュー。これまでに5枚のアルバムCD、4枚のシングルCDをリリース。その存在感あふれる「声」でファンの和を広げ、NHKみんなのうたや人気ゲームソフトの主題歌を唄うなど活躍。海外ではキューバの音楽祭、サンフランシスコでの世界平和音楽賞などに参加。現在は2児の母となり、ラジオや、テレビ出演等も務めながらライブを中心に活躍中。昨年からは土に生きることの幸せを伝えるため「種まきライブツアー」を全国で展開している。

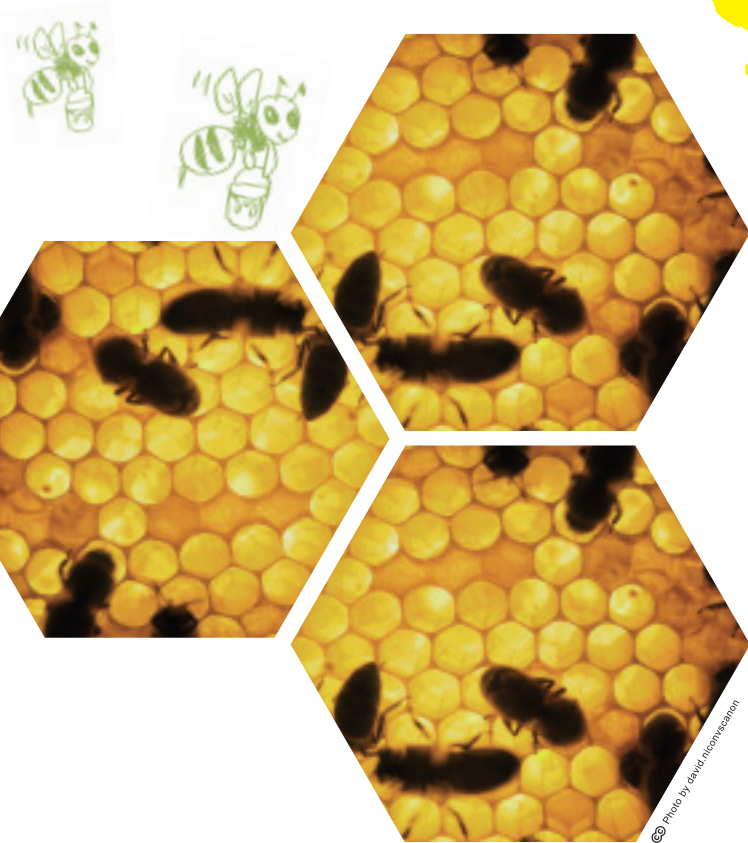
Yae公式ウェブサイト Yae Official Website <http://www.yaenet.com/>

農 NEWS, NO LIFE !!



エコで持続可能で平和でわくわくな未来ニュース

「農」がカッコわるい時代はもう、終わった。これからの最先端は「農」なのだ。だって、お金は、食べられないんですから。ベランダでプチ自給したり、キッチンでハーブを育てたり。そういうところから始めてみようよ。



NEWS
01



銀座のミツバチさん、おいしく頂いてます！ 「銀座ミツバチプロジェクト」

銀座でミツバチを飼い、そのハチミツを銀座の有名店のスイーツなどに使ってもらう活動をしているのが「銀座ミツバチプロジェクト」。この NPO 法人は、2006 年より銀座 3 丁目のビルの屋上でミツバチの飼育をはじめ、2007 年には 3 か月でなんと 260 キロものハチミツが採れたとのこと！「銀座ミツバチ」が蜜を集められる距離、4km 四方には、浜離宮や皇居、日比谷公園などの広大な緑地がある。だから、都会ど真ん中の銀座でも、こんなにたくさんのハチミツが採れるのだ。

採れたハチミツは、資生堂パーラー銀座本店にあるカフェのフレンチトースト (1,350 円) や、東急ハンズ銀座店の石鯨「ハニーソープ」(1,500 円)、「ギンザハニー リップバーム」(1,300 円) などに使われているという。都会でミツバチ飼育、あなたもやってみる？！

▶▶▶ 銀座ミツバチプロジェクト

<http://www.gin-pachi.jp/>

あのレニー・クラヴィッツが百姓に？！

3 年連続グラミー賞を受賞するなど、絶大な人気のあるロック・スター、レニー・クラヴィッツが、しばらく音楽活動を離れ、百姓をしていたことが、ウワサとなっている。2007 年の終わりあたりから 4 か月、ブラジルの農園で野菜や果物を育てていたというレニー。音楽誌で「すばらしい体験だった。まさか俺に農夫がつとまるとは……。すっかり自然に囲まれて、周りど調和した生活を送っていたんだ……」と語ったとか。しかし、農園から戻ってからは一転、今はデジタル・ガジェットに夢中。「iPhone は最高だね……」っておいレニー!!!

▶▶▶ Lenny Kravitz (公式 Web サイト)

<http://www.lennykravitz.com/>



「百姓」ってスゴイんです 「百の生きものを生かす職業」

農にたずさわる人のことをよく「百姓」という。差別用語のようにも使われるこの言葉だが、しかし、農家の間で自ら堂々と「百姓」を名乗る人々も居ることをご存知だろうか。そもそもこの「百姓」という言葉は、中国が発祥で「百の姓(苗字)」という意味から「一般人」という意味で使われていた。ところが今は「生きものを育てるために百の業種をこなす人」ととらえられることも多い。たしかに農業は、苗を育てたり、道具を修理したり、ビニールハウスを建てたりと、色んな技術が必要な職業。さらに野菜の種類も豊富で、これらすべてを育て上げる技術を持っているなんて、スバラシイ！さらに、農といえば、野菜だけでなく、牛・鶏・ミツバチ……などなど、動物や昆虫の飼育も含むのだ。多くの命を生み出す職業、「百姓」リスペクト！！



かわいすぎる！百姓犬

裸足で大豆をまきまくるイベント 「1000人の種まき大作戦」

フツーの人でも楽しく「農」に関われるイベントを繰り広げている「種まき大作戦」。この種まき大作戦が大豆の種をまくイベント「1000人の種まき大作戦」を行った。

しょう油……みそ……納豆……と、めっちゃめっちゃ使われているのに、なんと全体の95%も輸入に頼っているのが大豆。この現状を少しでも変えていくため、老若男女が裸足になって畑に大豆の種をまくこのイベントは、今回で2回目。2008年6月29日に千葉県利根川が近くを流れる畑で開催された。雨が降りしきる中、大豆をまいた後は、新鮮野菜やおいしい食べ物のマーケット、ライブ、ワークショップとわいわい盛り上がりながら日は暮れていく。来年も初夏に開催予定だ。

▶▶▶ 1000人の種まき大作戦

<http://www.tanemaki2007.jp/log/eid54.html>

NEWS 04

4人の有機農家さんに聞いてみた！

Q、「野菜づくりってHAPPY？」

A: 食べ物が自分で作れる幸せて、確かにありますね。そして、その作り方を全部自分で決められるのは、責任も重大ですが、その分、充実感もあります。雨が降った後、稲がピンっとしているのを見ると「生きてるなあ！」と嬉しくなりますね。

A: 誰にでもはできない、やりがいのある仕事と思っています。前にとうもろこしが台風でポロポロになってしまったのですが、なんとか持ち直しました。野菜の生命力ってスゴいなあ、と思いましたね。

A: なにぶん自然が相手なので、苦しいときもありますが、できた野菜をおいしいって言ってもらえるのが、なによりうれしい時です。

A: 種が同じ形をしていますが、さまざまな作物ができることに驚きを感じています。今は畑に居ると、時が経つのを忘れますね。あっという間に時間が過ぎていきます。



「みやもと山」さん (千葉県)
<http://miyamotoya.exblog.jp/>



「東峰べじたぶるん」さん (千葉県)
<http://mitsumame.ocnk.net/>



「しげファーム」さん (千葉県)
<http://www.shigefarm.com/>



「風みどり農場」さん (茨城県)
<http://www.k5.dion.ne.jp/~kazamdr/>

NEWS 05



羊毛はホルムアルデヒドも吸着してしまうというから驚き

北海道発！ ジンギスカンからドレスも生まれる？！

北海道発のブランド「YUUYOO(ユーヨー)」は、1頭ずつ大切に育てられたジンギスカンの肉用羊の毛を使って、ドレスやジャケットに仕立てている。ホテルや有名フレンチレストランで使われている羊の毛なのだから、その毛質のよさはおして知るべし！ ちなみに羊毛は断熱性が高く、抗菌・消臭効果があるうえに、空気を清浄にしてくれる効果も持つ、実用性が高い素材！ デザインは、北海道在住のデザイナー「カミシマチナミ」さんによるもの。わざと色を染めない生成り色が、心を落ち着かせてくれる。羊の命を大切にしつつ、北海道も応援してしまおう、ステキなコレクションだ。

▶▶▶ YUUYOO(ユーヨー) <http://www.yuuyoo.jp/>

東京の地下に広がる野菜は未来の味？！

総合人材サービスを手がけるパソナグループが、大手町の地下に作ったのは、なんと田畑！ 都会の人たちにもっと農業を身近に感じてもらうと、田んぼや野菜畑、そして土を使わずに育てているトマトの木やサラダ菜畑がある。その地下農場の名は「パソナ O₂(オーツー)」。なかには、当てる光の色を変えることで、まったく育ち方が違う野菜を観察したり、地下で作られたサラダ菜を試食することも。施設内に入ると、ビルの中なのに植物のなんともいいにおい！ イベントも数多く行われているので、ぜひ一度行ってみよう。

▶▶▶ パソナ O₂ http://www.pasonagroup.co.jp/pasona_o2/

NEWS 06



© Photo by dimitrid



農業でもうける！ 攻めのクリエイティブ農業マガジン 「ザックザック」創刊

クリエイティブに農を追求する人を紹介する Web マガジン「ザックザック」が、2008年夏、オープンした。この Web サイトのメインコンテンツは「Z ファーマー」の紹介。「Z ファーマー」とは「自然をフィールドに自分で考え、稼ぎ、くらすライフスタイルを実践する人たち」のことだ。

内容は、ワニ養殖業者を 11 ページにもわたってガッツリ取材した記事や、鶺鴒飼(鶺鴒という鳥を使って、魚を採らせる漁法)に取り組む女性の話などなど。そして、Web サイト片隅を飾る「農家の犬」。ほとんどがなんてことない雑種犬の、かわいらしさが爆発しているなごみ投稿コーナーだ。これから農業に携わりたい人だけでなく、なんとなく興味がある人にも、農業という世界の広さを知ってもらえるオススメ Web マガジンだ。

▶▶▶ ザックザック <http://www.zackzack.jp/>

NEWS 07



© Photo by cesarastudio

5 田中義剛だけじゃない！ 人の「農タレント」



花畑牧場
<http://www.hanabatakebokujo.com/>



工藤タ貴オフィシャルウェブ
<http://www.youkikudoh.net/>

華々しくてきらびやかなイメージの強い芸能界。しかし最近、土にまみれて野菜や米をつくるライフスタイルを選ぶ「農タレント」が増えてきている。まずは、800坪の田畑とともに女優業と農業を両立しているのが、女優の**工藤タ貴さん**。静岡県富士宮市に家を構え、米や無肥料のじゃがいもなどを育てているという。そしてその米や野菜を使ったカフェ「カフェ・ナチュレ」もオープンし、地元の人々に人気だとか。工藤さんの農作業の様子は、公式 Web サイトで見ることができる。また、自給自足を目標に、有機農業をはじめているのが女優の**高木美保さん**。パニック障害の治療も兼ねて、栃木県に移住したところ、自然の中で元気を取り戻したという。そして、「農タレント」の重鎮、自ら牧場を営んでいるのが**田中義剛さん**。北海道の十勝に「花畑牧場」を開き独自商品「生キャラメル」を開発。ものすごい人気で、1人5個しか買えないこともあったとか。そのほかには、秋田に通ってお米を作っている歌手の**大貫妙子さん**や、千葉で自然にやさしい家を作って生活している**高樹沙耶さん**も、有機野菜を作っているのだという。「農タレント」、これからも続々増えていきそう。

未来の「田舎暮らし」はコレじゃね？！ 今「エコビレッジ」が熱い！

ほんの少し昔。人々はともに田畑を耕し、集まってワイワイ食事をしながら生活していた——。そんな昔ながらの伝統と、最新の技術を合わせた暮らし方「エコビレッジ」が今、注目されている。すでに世界には数多くあり、1500人以上の住民をかかえるインドのオーロビルなどが有名だ。そこでは、住民自らが野菜を作り、自家発電したりと、人と自然が調和した生活が行われている。また、エコビレッジを作ってみたい！ という人のための学び場「エコビレッジ・デザイン・エデュケーション」も、2008年11月から開講。さまざまな分野から、エコビレッジ・ビルダーの養成を目指していく講座だ。

▶▶▶ エコビレッジ・デザイン・エデュケーション
<http://jepp.org/>



© Photo by Robbi Baba

NEWS 09



2007年に行われた農イベント「土と平和の祭典」でも、会場入り口に「農」な作品を展示した

農をテーマに縦横無尽に活躍する アートユニット「生意気」に注目！

カラフルなオブジェやインスタレーションで人気の外国人2人のアートユニット「生意気」は、植物を素材にしてさまざまな作品を生み出している。以前はプラスチックなどの素材を使って、カラフルなオブジェなどを作り上げていたが、唐突に植物を使った作品に転向。周囲を驚かせた。自然の法則を人間の生活に取り入れた「パーマカルチャー」の考え方を推進しており、都会の隅に勝手に野菜の苗や種を植え付けるアクション「ゲリラ・ガーデニング」も実行中。その作品は、いつも心をワクワクさせてくれる。

▶▶▶ 生意気 <http://www.namaiki.com/>

種を集めてあちこち蒔ける かわいいアクセサリ「One Drop」

このコロっとカワイイ形の麻のアクセサリ、実は立派に「農」に関係するグッズ。中には地鶏ならぬ千葉産の「地大豆」が入っていて、アクセサリでありながら、種まきもできる、というすぐれた「緑化グッズ」なのだ。このアクセサリを作っている糸は、アンデス山脈の近くで、コーヒーと一緒に育ったサイザル麻を使っている。そのサイザル麻を自然の染料で染め、地元の人が手編みしたフェアトレード商品。大豆は、春にまいて丁寧に育てれば、夏にはおいしい枝豆が食べられるぞ！ 全部まいてしまった後も、余った種を入れて持ち歩けば、キミは現代の花さかじいさん！ 通販 Web サイト「Slow Water Cafe」で、600円で販売中！

▶▶▶ Slow Water Cafe <http://www.slowwatercafe.com/>



ポルシェにランボルギーニ、メルセデス… 全部トラクターの話です。

固い大地をなんなく耕してくれたり、移動したり……。トラクターは農業を営む人にとって、必須の「ザ・農業機械」。そんなトラクターを、ポルシェが作っていたことはご存知だろうか。しかし残念ながら、現在は生産中止。そしてスーパーカーの代名詞ランボルギーニは、そもそもトラクター会社。日本では、北海道限定でランボルギーニ・トラクターが販売されている。また、ヨーロッパではメルセデス・ベンツのトラクターが人気だそう。田畑を耕すなら、やっぱり女の子にモテる外車がいい…のか？

© Photo by stephanmarin

ヘンテコ！ でもウマイ！ な野菜 4 種

頭の中で大根、きゅうり……と野菜を思い浮かべると、フツー大体同じような姿がみんなの脳裏に浮んでいるはず。けれども、昔は例えば「京野菜」のように、地域それぞれで違う品種が存在していたのだ。野菜大好き子なら、そんな品種の違いも楽しんでいきたい。そこで、近ごろ話題の品種を中心に紹介しよう。スーパーで買えなくても、インターネットで買える野菜もあるぞ。



宇宙ブロッコリー
(ブロッコリー・ロマネスコ・ヴェロニカ)

貴族みたいな本名を持つこの野菜、ブロッコリーとカリフラワーを掛け合わせており、なんだかキモチワルイ形だが、食べるとあっさりしたブロッコリー味。食べやすくおいしい。もちろんブロッコリー同様ゆでて食べる



はやと瓜

未確認飛行物体みたいな形をしているこの瓜。しかし、味は見かけとは逆に非常に淡泊。味噌汁に入れたり、サラダにしたり、炒めたりと、冬瓜と同様に食べられる。浅漬けもウマ！



バナナピーマン

ご覧のとおり、すっかりバナナ色と形のピーマンだが、もちろん皮なんてないし、甘くもない。味はややパプリカ似のピーマンで、料理法もピーマンと同様。この鮮やかな色は炒め物にしたらステキでした



マイクロトマト

ミニトマトよりさらに小さいこのトマト。大きさは大きいものはビー玉くらいで、さらに小さいものもざら。味はミニトマトと似ているが、粒が小さいので、噛んだときの歯ごたえがウマイ。弁当の隅にキュキュッと入れると彩りアップ

NEWS
12



モードな「野良着」を考える！ アグリデザインアワード

「アグリデザインアワード」は、農をカッコよくデザインした人に贈られる賞だ。ファッション・アイテム・ビジネスモデルの3部門において作品を募集し、ステキな案を表彰するもの。たくさんアイディアの中、2007年のファッション部門受賞作は未来感にあふれた、超モードな「野良着」。またアイテム部門では、新しい形の鍬(くわ)や、野菜ギフト用のバッグなどが受賞した。2008年のアグリデザインアワードは、11月に発表予定。ファッション部門は、農作業に欠かせない長袖Tシャツ、アイテム部門では軽トラックのデザインを募集している。左の写真、これを着て農作業をしたいかと聞かれば、ビミョーですな……。

▶▶▶ アグリデザインアワード 2008

<http://www.agridesign.jp/ada2008/>

世界で一番有名な日本人?! 「自然農法」の巨星墮つ!

「自然農法」という言葉をご存知だろうか。肥料や農薬を使わないのはもちろん、畑を耕さず、草も取らないという「そんじゃー体ナニやってるんじゃい!!」と思わず突っ込みたくなるこの農法を考え出したのが、福岡正信さんという人。「自然が一番最高の位置に配置してくれるから、人間が手を加えるのは『余計なお世話』ってモン」と、種まきと収穫以外は世話をしない育て方を打ち立て、世界中の農業関係者に大きな影響を与えた。その存在感から「世界で一番有名な日本人」なのではないかとのウワサも。また、粘土に複数種類の種をまぜて団子にし、海外の砂漠地帯などにばらまく緑化アクションも展開。しかし、2008年8月、世界中の人に惜しまれながら95歳で亡くなった。合掌。



著書「わら一本の革命」は
世界各国語に翻訳され、
多くの人々に読み継がれている



NEWS
14

大地とともに汗流そう! 畑、初体験のためのアレコレ

「コンクリートジャングルにはもう飽き飽きッ! 農作業体験をしてみたい!」そんなキミにぜひ知ってほしいのが、「援農」という言葉。農家は野菜を作るためにしなくてはいけない作業が多く、しかも有機農業のように殺虫剤や除草剤などを使わないところでは、虫退治や草とりなど、余計に人の手を必要としている。そこで「農家」を「援助」する方法として「援農」があるわけだ。ホームページで検索するとさまざまな農家で援農を受け入れているが、援農したい農家と都市をつなぐWebサイト「野良しごと。」で探すのもテ。また、農作業などの代わりに、食事と宿泊をタダで提供してくれるWWOOF(ウーフ)制度も。都会ではまず体験できない、人とのふれあいとおいしい野菜、そして大地の上で体を動かす楽しみを味わってほしい。

▶▶▶ WWOOF Japan

<http://www.woofjapan.com/main/>



© Photo by steve wilson

速報!! アースデイ東京 2009 の「お米自給大作戦」豊作!

アースデイ東京 2009 の自給率をあげよう! それにはまずはお米から! てなわけで、千葉県の新田で、自給大作戦がはじまった。一般から募集した農に興味アリ。なフツの青年たちが、田植えから草取り、稲刈りまで汗水流してお米を作っていた。もちろん、お米は有機栽培! ちなみに、この新田、巻頭インタビューで登場した Yae さんが家族とともに住んでいる「鴨川自然王国」のもの。途中、害虫に悩まされながらも、作業後に Yae さんや特別ゲストのライブを楽しんだり、みなでかかしや茶碗を作ったりと、笑顔いっぱいツアーとなった。そしてこのお米が来年の春、みんなのごはん(詳しくは下の黄色い囲みを見て!)に使われます! それでは、一年の流れを稲の成長とともに、ご覧くださいませ!



5月5日~6日 田植え

環境活動家のアンニャ・ライトさんも子どもたちと田植えに参加。かぼちゃの苗植えも体験した



5月31日~6月1日 草取り第一弾

害虫が発生し、仕方なく一部に農薬を流す。益虫も死んでいく様子を見てしんとした気持ちに



6月15日~16日 草取り第二弾

田んぼの畦に大豆をまいて、さらなる自給大作戦! じゃがいも堀りも楽しんだ



7月12日~13日 草取り第三弾

すっかり大きく育った稲。草取りをすると葉が刺さって顔がチクチクするが、すべてはおいしいご飯のため!



8月30日~31日 茶碗&かかしづくり

せっかく実ったお米がすずめちゃんにやられないよう、かかしづくりを決行! 収穫したご飯を食べるための茶碗も作った



9月23日 稲刈り!

ついにやってきたこの日! 色々あったけど、300坪ほどの田んぼから240kgのお米がとれました! 豊作!



アースデイ東京で会いましょう。いただきます!

来年まで待ちきれない?! 人にアースデイキッチン.net 2009



<http://www.earthdaykitchen.net/>

そんな「みんなで作ったお米」が使われるのが、アースデイ東京代々木公園会場に登場するオフィシャルレストラン! 季節の旬や、人と自然に優しい食材にこだわったお店から、マクロビオティックなお店まで、「超おいしい!」と大評判。そんなあの店の味を、今食べたいんですけど! という欲張りな人には「アースデイキッチン .net」をオススメする。出店経験のあるお店の場所やホームページが一目で見れるほか、普段食べている食料がどのくらいの距離を旅してきたかを知る「フードマイル」を知る計算機、旬の野菜を知るゲームなども楽しめる。



2009年4月、Earth day Tokyo 2009で僕と握手！

てなわけで、2009年もやりますよ！ Earth Day Tokyo 2009！
オーガニック屋台、フェアトレードやオーガニックな雑貨、大物
ゲストも参加するトークショー、ライブ、お気に入りの一品を作
れるワークショップなどなど、ありとあらゆる企画を予定し
てます。しかも、アースデイ東京 2009のテーマのうちの一つは
「農」！ 左ページのお米自給大作戦のほかにも、さまざまな人と
農、野菜をつなげていく企画を考え中！ 参加するだけではもの足
りない人は、インターンやボランティアも募集中！ 場所はおなじ
み代々木公園そのほか！ お楽しみに～！

アースデイ東京 2009 4月18日(土)・19日(日)
会場：代々木公園ほか
参加費：無料 <http://www.earthday-tokyo.org/>

アースデイ……地球のことを考えて、行動する日

「アースデイ」それは、地球の日。1970年、アメリカのネル
ソン上院議員が4月22日を“地球の日”であると宣言し、
当時スタンフォード大学の学生だったデニス・ヘイズ氏
が全米の大学にもちかけてアースデイが誕生したのだと
か。現在は日本全国はもとより、欧米諸国で、アジア各地で
も行われる活動となっている。だからこそ海外とつながり
あうことが必要ってことで、来年春に発行される「地球の
日の歩き方」は、海外アースデイとNPOがテーマ！ 海外の
エコスゴイ情報をこれでもか、とお届けします！

アースデイ東京 2009 公式フリーペーパー 地球の日の歩き方 Vol.06

2008年10月19日 第1版発行
発行 Earth Day Tokyo 2009 アースデイ東京 2009 実行委員会
<http://www.earthday-tokyo.org/>
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-15-3-610
tel : 03-6277-5766 fax : 03-5728-7696
e-mail : office@earthday-tokyo.org

Edit Greenz グリーンズ
Editor in chief 鈴木菜央 (greenz.jp)
Senior editor 山本ペロ (greenz.jp)
Design 加藤大祐 (kato-chin club.)
Photo 松澤亜希子 (p1, p3) 澤田佳子 (種まき大作戦) 田中利昌 (種まき大作戦)
Advertising manager 小川奈緒美 (アースデイ東京)
Eco printing manager 佐藤光一 (株式会社文星閣)
Partners ハッタケンタロー (種まき大作戦) 神澤則生 (種まき大作戦)
Publisher 中島悠 (アースデイ東京)
Special thanks 鈴木みり&にこ 加藤里玖
印刷・製本 株式会社文星閣



アースデイ東京 2009 実行委員会は本誌表紙およびP5-12において、
著作権をある程度保持しながら、自由に利用してよいと宣言します。
クリエイティブ・コモンズとは、創造的な作品が共有されるための柔
軟な著作権を定義する試みです。詳細な条件は以下のリンクを参照く
ださい。なお、ライセンス表示のある写真、ロゴマークについては各ラ
イセンスに従ってください。
<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>

本誌に掲載されているニュースは、ウェブメ
ディア『greenz.jp』でも読むことができます。
greenz.jp はエコで持続可能で平和でワクワク
な世界を目指して未来につながる日本と世界の
エコスゴイニュースをバイリンガルで配信する
オープンなウェブメディアです。
<http://greenz.jp>



このフリーペーパーの制作で使用する電力 240kWhは、(株)自然エネルギー・
コムからグリーン電力証書を購入し、全て風力発電による自然エネルギーでまかっています。

あ、水が笑った。

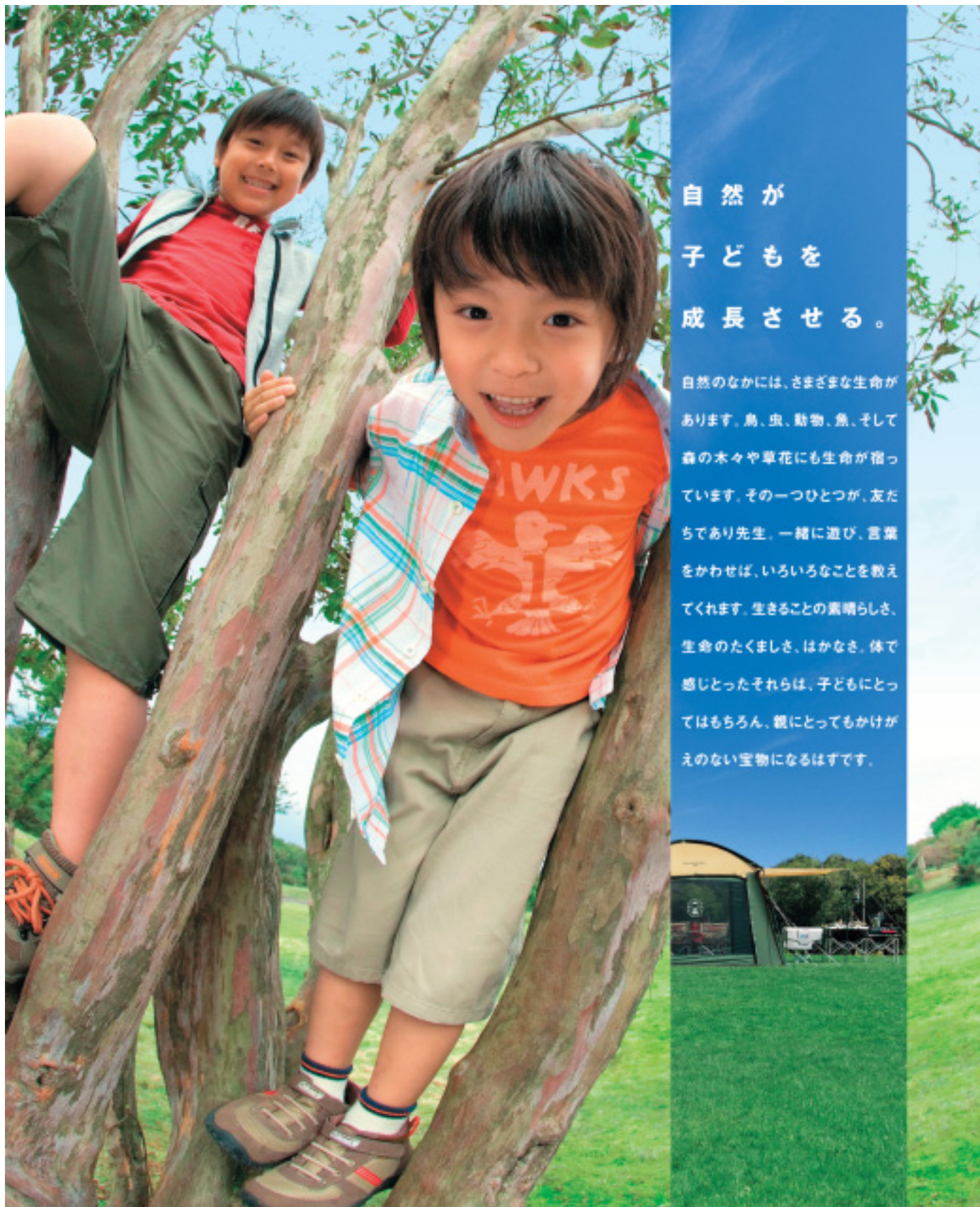
ふだん見かける、ポスターやパンフレット。
その多くは、「水あり印刷」で作られます。
文星閣が進めるのは、「水なし印刷」。
まだまだ少数派ですが、23年間、取り組んできました。
水を使わず、有害廃液も出さない、
そんな環境配慮に富んだ印刷方式です。
文星閣は、昨年、石油系成分を含まない、
ウォーター・ウォッシュャブルのインキを、いち早く実用化。
「水なし印刷」と組み合わせ、VOC（揮発性有機化合物）排出量の
大幅な削減を可能にしました。
森林資源や環境の保全につながる用紙等と合わせ、
一歩先を行く、環境対応印刷としておすすめしています。

環境を考え、選ぶ印刷。文星閣から。

株式会社 文星閣

<http://www.bunseikaku.co.jp>

東京都港区赤坂4-1-29 赤菱ビル5F ■お問合せ TEL.03-3587-2121 (環境推進室)



自然が
子どもを
成長させる。

自然のなかには、さまざまな生命があります。鳥、虫、動物、魚、そして森の木々や草花にも生命が宿っています。その一つひとつが、友たちであり先生。一緒に遊び、言葉をかわせば、いろいろなことを教えてくれます。生きることの素晴らしさ、生命のたくましさ、はかなさ。体で感じとったそれらは、子どもにとってはもちろん、親にとってもかけがえのない宝物になるはずです。



The Outdoor Company™

LET'S GO OUTSIDE...

www.coleman.co.jp

グッド・ナイト
の前に
電気消さナイト

寝る前に電気の確認を。eco

お湯に浸かって
残り湯使って。

水は大切な資源です。eco

冷蔵庫で
ふしぎ発見!

冷蔵庫はきちんと整理して効率アップ! eco

止めたら
止める。

停車時はエンジンを止めましょう。eco

細かい男は嫌いだけど、
こまめな男はわるくない。

ゴミはきちんと分別しよう。eco

歩いて防ごう
メタボリックと
温暖化。

省エネにご協力ください。eco

はじめてる?

TBSでは、身近な省エネを考えるエコなコピー、「ecopy」を展開中。
ステッカーをダウンロードして、家や会社などで、お使いください。

www.tbs.co.jp/eco/



50年先も、世界が“夢”を持ち続けられるために